



人権週間 「拉致問題から考える」

私は動画を見て拉致問題はとても怖く、たくさんの人たちを傷つけるものだと思いました。私がもし拉致されたり、拉致された人の両親などの関係者だったりしたら私はもちろん苦しいし、周りの人や他の人たちも苦しんでしまうと思うからです。だから人権をうばうこと、守らないことは自分だけではなく、周りの大切な人まで傷つけたり苦しめてしまうことが分かりました。私は人権は絶対守らないといけない大切なものだな、と改めて思いました。

(さん)

ぼくは今日のアニメを見て人権について考えることができました。人権について考えることが今までなかったけれど、身勝手な人たちのせいで人権が奪われている人が知らなかった中にもいるから、もう少し人権を広めるべきなんじゃないかと思いました。そして「かわいそう」と思うだけでなく、自分自身が人権のことをしっかりと考えることが大切なのだと思いました。みんなが幸せにくらすために人権は必ず必要なのだと思いました。ぼくは人を傷つける言葉を言ってしまったことがあるかもしれないからぼくも人権を奪うことがないようにしたいです。



(さん)

ぼくは初めは日本の人はみんな幸せにくらして戦争も終わったから人が苦しんだり悲しんだりすることはもう今はないと思っていたけど、動画を見てあんなことが今も起っているのだと思ったし、だから前の道徳でもやった30条の人権のことがあるのだと思いました。人権をうばうと、その人だけが苦しいわけじゃなくて、その人のことを知らない人や関係のない人はそんなに思わないかもしれないけど、家族や親せきの人などもとても苦しみます。たくさんの人が1つのことで苦しんでいるから「人権を守ること」はとても大切なことだとわかりました。ぼくはあの動画を見るまでは人権のことにあまり関わっていないと思っていたけれど自分もこれから気をつけようと思いました。人が死んだりして苦しむだけではなく、今の子どもたちもいじめなどで苦しい思いをしている人がいるから、全員に人権を大切にしてほしいと思ったし、自分も相手がどう思っているかなどを考えたりして、気づかない間に傷つけてしまうことのないようにしたいと思いました。

(さん)

私はこの動画を見て、人の自由を奪うことがどれほどのものか考えさせられました。人が人らしく自由に生きられる権利が人権です。その人権が奪われるということは決してあってはならないことだと思います。そして、それは奪われた人だけではなく、その人の家族や友達、身近な人にもとても大きな影響を与えてしまうことが分かりました。当たり前だったはずの幸せが一瞬で消えてしまうということがどれほどつらいことなのか私にはまだわかりません。ですが、この動画からたとえ奪ったものは1つでも、その人の周りの何十、何百人もの自由や幸せを奪うことにつながってしまうから人権は絶対に守らなければならないと思いました。私は今苦しんでいる人のために何もできないけれど人権が人の自由や幸せを守る大切なものと分かったので今の当たり前を大事にして今日のことを忘れないようにしたいです。

(さん)

ぼくは拉致問題のことを知って、あんなに幸せで、当たり前のことを願っていた家族が1つの出来事で崩れてしまったことがショックでした。拉致された、ということが何年もたってから分かって、その何年の間すごく心配でたまらなかったと思います。ぼくはまだ子どもだけど、ぼくがもしそうになったらこわくてたまらないし取り乱します。拉致とは一つの出来頃だけど、人権が奪われてしまうことで多くの人に問題を与えてしまうことが分かりました。人権を奪うことはその人だけではなく、その周りのその人を大切に思っている人の未来や幸せも奪ってしまうことだと思います。だからぼくが人の人権をうばったり、傷つけてしまうことが絶対にないようにしたいと感じました。拉致だけでなく、悪口や暴力でも人を傷つけることがあります。今までは考えていなかったけれどそのようなことも周りの人も傷つけてしまうことになるのかなと思いました。だからこそぼくは周りの人を大切にしたいです。

(さん)



私は北朝鮮による「拉致」に出会った少女の話はニュースで見たことがありました。今までささいな幸せをただ祈って自由にくらしていたのを突然奪われて、それからどれほどつらい思いをしてきたか、また、しているのか、考えただけでもとても怖くてつらいと思いました。人権というものはささいなことで失われたりするもので、自分が言った何気ない一言でも相手を傷つけてしまうかもしれないと気を付けていきたいです。

(さん)

私は今日見た動画から何も悪いことをしていない人が突然拉致されて、家族にも会えなくなるなんてひどいし、絶対にあってはならないことだと思います。家族ももうその人に会えなくなるとすごく悲しいし、ひどいです。このようなことが実際にあったなんて信じられないし信じたくもありません。きっと私は北朝鮮に拉致されることはないと思うけどもしあったら悲しいし怖いです。だから今はとても幸せなんだと実感したり、家族や友だちに感謝し、今以上に大切にしたいと思います。そしてこれからはささいなことでも友だちや家族を傷つけていないか言葉にも気を付けて当たり前の生活に感謝しながら生活していきたいです。

(さん)

道徳の授業で「拉致問題」に関するアニメを通して考えた「人権」。実際に今のあなたたちが拉致にあう可能性は低いですが、それでもこのアニメを通して多くの子が「人の幸せや自由を奪うこと、人権を守らないことはその人だけではなくてその周りの人のことも傷つけることになる」と気付いていました。その通りだと思います。「拉致」というとなかなか想像することは難しいですが「人を傷つけること」は誰しも可能性を秘めています。もしかしたら自分が言った言葉、やったことでその相手だけではなく、周りの仲間や家族も傷つけてしまうことがあるかもしれない、そのことを理解することができたことが「人権を考える」第一歩だと思います。山岡小学校は1クラスで6年間、もっと言うと子ども園から同じ仲間ですごします。たくさんの思い出や一緒に頑張ってきたことがあります。6年生になったこの1年間だけでも運動会や修学旅行、普段の授業を通じてみんなで協力して頑張ってきました。だからこそこの仲間に対して「この子はからかって大丈夫」「これくらいなら許してくれる」ではなくて、相手の気持ち、その後ろにある家族の想いや仲間の想いを考え、もう一度想いあい、大切にしたいことが大事だなと感じました。6年生も残り4か月。みんなで、最高の仲間であつたいろんなものを築いていこう！！

